

平成27年度第4回瑞穂市総合教育会議 会議録

平成27年12月21日（月）午後3時30分開議

○日 程

開会

1 あいさつ

2 議 題 (1) 瑞穂市教育大綱（案）について

3 その他

閉会

○出席者

市 長 棚 橋 敏 明	教 育 長 横 山 博 信
教育委員長 河 合 和 義	教育委員 福 野 佐代子
教育委員 加 藤 悟	教育委員 麓 英里

○欠席者

なし

○説明のため出席した者の職・氏名

副 市 長 早 瀬 俊 一	総 務 部 長 大 岩 清 孝
福 祉 部 長 広 瀬 充 利	教 育 次 長 高 田 敏 朗
教育総務課長 久 野 秋 広	学校教育課長 伊 藤 雅 生
幼児支援課長 山 本 康 義	生涯学習課長 伊 藤 巧

○職務のため出席した者の職・氏名

企 画 部 長 森 和 之	秘 書 広 報 課 長 石 田 博 文
秘 書 広 報 課 主 査 青 木 美 香	

○傍聴者

なし

開会 午後3時30分

○石田秘書広報課長 本日は、大変お忙しい中、平成27年度第4回瑞穂市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます、企画部秘書広報課の石田です。

それでは、会議に入る前に、皆様方にお諮りしたいと存じます。本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第6項の規定により、原則公開となっております。現時点では、傍聴を希望されるかたはみえませんが、希望があった場合、認めるということによろしいでしょうか。ありがとうございます。

もう一点、「瑞穂市総合教育会議運営要綱」第7条の規定に基づき、議事録には、出席者の氏名等が公表されますことも申し添えます。

それでは、はじめに、棚橋市長よりごあいさつを申し上げます。

あいさつ

○棚橋市長 本日は、大変お忙しい中、出席をしていただきありがとうございます。本日の会議は、「瑞穂市教育大綱（案）」について協議いただく4回の会議となります。第3回までの委員皆様のご意見と私の考えを取りまとめて、本日の「瑞穂市教育大綱（案）」となっております。本日の会議にてこの「瑞穂市教育大綱（案）」を決定し、その内容を第2次総合計画に反映をさせ、総合計画のパブリックコメントを実施した上、議会、市民の皆様にご公表したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○石田秘書広報課長 ありがとうございます。それでは、「瑞穂市総合教育会議運営要綱」第4条の規定により、これより棚橋市長が議長となって会議を進めていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

議題 (1) 瑞穂市教育大綱（案）について

○棚橋市長 それでは議長を務めさせていただきます。皆様方のご協力により、会議がスムーズに運営できますよう、よろしくお願いいたします。

レジュメに沿って、2. 議題の(1) 瑞穂市教育大綱（案）について協議したいと思います。お手元の資料をご覧ください。前回までの委員のみなさんの

意見を基に修正したものです。

《瑞穂市教育大綱（案）について説明。》

ご意見がありましたら、お願いします。

○**横山教育長** 以前の案には期間が入っていましたが、4月1日制定ということは、この大綱で当面は進めていくということですか。

○**棚橋市長** 基本はこれでいきたいという思いです。

○**横山教育長** 市長に賛成です。教育はすぐに変わるべきものではないし、大綱に書かれていることも数年でできるものではないと思います。年次を区切るものではないと思います。内容について、2. 「規則」という言葉を「規律」に変えてはどうですか。また、3. の「企業」は具体的なイメージが持てないのでなくてもいいのではないですか。

○**加藤委員** 市長が「企業」を入れた考えをお聞きしたい。

○**棚橋市長** まち全体の教育ということを考えていまして、以前企業を訪問した際にも、まちに協力したいという意見がありました。企業もいろんな意味で教育に取り入れてほしいという意見もありました。地域という言葉の方が密着するかもしれません。地場産業的な身近なものを考えていしましたが、企業というと大きなイメージを持たれるかもしれません。ただ、今後、産官学の連携も踏まえてこのように表現しました。地域ぐるみで家庭教育の向上を図るのが基本だと考えています。

○**加藤委員** 「健康で生きがいのある取り組み」というのはどのようなことですか。

○**棚橋市長** 自発的な学習を通じて、自らの健康、身体、福祉について考える心を作って欲しいという思いです。

○**河合教育委員長** 2. について、学力の向上が第一目標であって、教員の育成が目的ではないと考えます。また、「充実する」という表現ではなく、「推進する」など、強いメッセージを示す表現にした方がよいと思います。

○**福野委員** 「基本理念」という言葉は入れた方がいいと思います。3. 「健康で生きがいを感じられる」としてはどうでしょうか。「企業」はやはり地域の中に含まれるのではないかと考えます。

○**麓委員** 「企業」に関しては違和感はなく、当然地元の企業の参加は教育に

は必要だと思います。

- 横山教育長** 「みずほを愛し、」以下をもっと強調してはどうか。これが中身となり、その下に3つの柱があるという形になると思います。
- 河合教育委員長** 幼児教育を推進するということは将来的に具体的な計画に入ってくるということですね。
- 棚橋市長** 今後、瑞穂市はまだまだ伸びて、共働きのかたが多く移り住んでくるまちですから、これからの務めとして、道路の整備等も含め、幼児保育のことをきちんと考えるべきであると宣言する意味も込めて書きました。「推進」という言葉を使う方が適切であると思います。今後の状況を見ながら進め、また、目標になると考えます。
- 横山教育長** すべて主語は大人であって子どもではないので、「推進する」と言いきった方がよいと思います。
- 河合教育委員長** これからは、福祉の充実よりも、子どもの将来を考えると教育レベルを重視する親も多いと思います。また、1. 「子育て支援の拡充」とすると手当等、幅広くなりすぎると思います。
- 福野委員** 保育・教育を一番大事にしているので1. 「子育て支援を推進します」2番目は「充実を図ります」でいいと思います。
- 棚橋市長** では、保育・幼児教育の充実と子育て支援の充実を図るとします。
- 横山教育長** 2. 「指導力」以下を削除し、「向上など」の「など」はなくした方がいいと思います。
- 河合教育委員長** 現在の瑞穂市の学力レベルが相当上であれば、「定着」でもよいが、「向上」とした方がいいと思います。
- 棚橋市長** では、「学力の向上を図ります」とします。続いて、「子どもの命を守る」と加えます。
- 横山教育長** 学校の設備を充実させるというより、環境を充実するとした方がよいと思います。
- 棚橋市長** 3. 「地域に貢献できる人づくりをします」とし、「企業」は「地域」とし、「地域コミュニティづくりを進めます」とします。
- 河合教育委員長** 他市では地域教育コミュニティと限定しているところもあり

ます。コミュニティのやり方を一度検討してほしい。

- 棚橋市長** 他市と比べると、保育所に対する考えなども違いますので、瑞穂なりのことをやっていきたいと考えています。
- 麓委員** 「学校、地域、家庭」の順番については何か考えがあるのですか。
- 棚橋市長** 2. では、学校を重点に置いているため、3. では、「企業」を入れていたので、身近なところから、家庭、学校、企業という順番にしました。
- 横山教育長** 先ほどの「地域教育コミュニティ」については、新しい概念なので、とりあえず「地域コミュニティ」とした方がいいと思います。
- 棚橋市長** ここでは教育コミュニティではなく、地域のコミュニティの中の関わりということで考えています。また、1. に関しては、幼保一元化もあり、保育所は教育委員会に完全に組み込まれていて、そこに対するニーズも非常に高く、待機児童の問題も教育委員会で対応している。ご理解いただきたい。
- 河合教育委員長** 教育委員会には予算権限がなく、調整をするだけなので、市長の考えを示していただきたい。子育て支援か教育かどちらを重視するのか。子育て支援に重点を置くのであれば、教育委員会では無理ではないか。
- 棚橋市長** 保育か教育かどちらに力を入れるのか、比べること自体が間違っていると考えています。そういう思いで作りました。
- 加藤委員** 「1. ～3. 」の番号に意味はないと思われるので、消してはどうですか。
- 横山教育長** この後、この大綱はどうされるのですか。
- 森企画部長** 本日の意見をまとめて教育委員会にお示しをして、総合計画に組み込ませていただきます。

閉会の宣告

- 棚橋市長** それでは、瑞穂市総合教育会議運営要綱第5条の規定により、これで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後5時23分